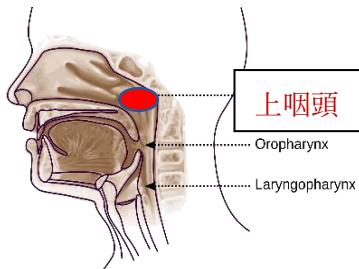


～B スポット療法（鼻咽腔治療）とは～



◎上咽頭（鼻の奥にある、のどの一番上の部分）

に塩化亜鉛を塗布する治療です。

赤ちゃんから高齢の患者様まで治療可能です。

※上咽頭は自律神経と免疫機能のツボともいわれています。

この治療は、東京医科歯科大学の故：堀口申作教授が1970年頃に提唱された治療法です。（当院の渡辺医師は、故：堀口申作教授の直弟子です。）

この処置により、頭痛・咳・後鼻漏・慢性疲労・肩こり・自律神経系の症状など

様々な症状がおさまる患者様が多数いるため、この治療を行っています。

症状改善効果がある患者様には、週1回～2週に1回のペースで通院していく
だくことになります。

※特に咳と頭痛には著効です。



治療上の注意点

1. 上咽頭の炎症が強い方ほど、薬がしみて、ひりひりした痛みがでます。
2時間ほど、痛みが続くことがあります。
2. 薬を塗った後、唾液に血が混じることが翌日くらいまで続くことがあります。
上咽頭の炎症が強い方ほどこの傾向にあります。
3. 薬を塗った後、鼻水や痰が数時間程度続くことがあります。
これは、上咽頭の粘膜が刺激を受けたためにおこるので心配はありません。
4. 治療をした後の食事や飲み物の制限はありません。